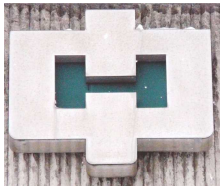


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 7月13日(木) 第7号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 新潟地区(陸上&体育)大会 接戦多し、大健闘 市大会

を勝ち抜いた団体、個人が新潟地区大会(陸上競技、球技)に出場しました。新潟地区中学校陸上競技大会は6月29・30日に新潟市陸上競技場で行われ、3年生3名が参加しました。新潟地区中学校体育大会は7月5・6日に各会場で行われました。バドミントン大会以外は島外で行われ、前日出発でした。

どの部も力を出し切り、最高の試合ができたようです。惜しいところで負けた悔しさは残ったと思いますが、粘り強く諦めず戦い、逞しさを感じます。バドミントン部は、線審や得点係、プログラム販売と補助役員としても活躍し、大会運営に貢献してくれました。最後に、平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様が応援に駆け付けていただきありがとうございました。大会結果は、次のとおりです。

### ◇ バレーボール(女子) [新潟市北地区スポーツセンター]

対 味方中 2-1 勝ち

対 山の下中 1-2 惜敗

顧問(土屋先生)より

3年生最後の試合をかけ、選手・ベンチ・応援が気持ちを一つにして戦えた大会でした。1回戦の第3セットは粘りのレシーブ力で30対28で勝ちを決め、2回戦も初めからの接戦でした。1対1で迎えた第3セットは0対9からの驚異的な追い上げで攻め、最後まで諦めず戦い抜きました。久しぶりに戦いを楽しむことのできたナイスゲームでした。これも3年生のお陰です。よく頑張りました。

### ◇ バスケットボール [新潟市東総合スポーツセンター]

対 西川中 54-66 惜敗

顧問(西澤先生)より

序盤から畑野らしいバスケットで得点を重ね、第4ピリオド開始時は8点リード。そこから相手の猛攻撃に遭い、掴みかけていた県大会への挑戦権は手から離れていきました。3年生5人を中心に築き上げてきた畑野のバスケット、大会会場や移動中のマナー、同じ佐渡のチームを応援する心意気など、畑野中バスケットボール部の全てを誇りに思います。短い間でしたが、熱く濃い日々をありがとう。一緒にバスケットができて幸せでした。

### ◇ 野 球 [スポーツランド燕球場]

対 坂井輪中 0-7 惜敗

顧問(楨田先生)より

今回の新潟地区は雨天順延があり、前泊を含めると2泊3日で1試合戦いました。雨天順延で洗濯が必要になり、応援に来てくださった保護者の皆様からご協力いただき大変助かりました。ありがとうございました。新チーム結成当初は3対23で負けていたチームが、地区大会で戦う姿に込み上げるものがありました。先輩からのバトンを受け取り、来年こそは県大会へ行きましょう。

### ◇ バドミントン [サンテラ佐渡スーパーアリーナ]

・団体戦 対 坂井輪中 1-2 惜敗

・ダブルス E・Tペア ベスト16(3回戦惜敗)

F・Aペア、H・Wペア(1回戦惜敗)

顧問(岩崎先生)より

今年は佐渡会場だったので、部員全員で新潟地区大会に参加することができました。選手はもちろん、補助役員の生徒もとても一生懸命に取り組み、よい経験となりました。団体戦では、どの学校の応援にも負けず、チーム畑野一丸となって戦いました。接戦の末、惜しくも敗れましたが、持てる力を十分に発揮できた素晴らしい試合展開となり、選手とそれを支えた部員に感謝しています。

### 3年間で一番いい試合

H. S

1試合目の味方戦は、自分たちらしくプレーし、1セット目を挽回して2・3セットを取れてよかったです。2試合目の山の下戦では、1セット目は勢いに乗り先取したけど、2・3セットを立て続けに取られ、あと2点で負けてしまいました。

しかし、1点決めるたびにしっかりと喜べて、3年間の中で一番チームが団結し盛り上がった試合になり、よかったと思いました。

(女子バレー部部长)

### 地区大会を終えて…

R. E

私は今回の新潟地区大会で団体戦とダブルスの選手として参加しました。団体も個人も県大会に出場することができず、とても悔しかったです。でも、県大会へもう一步のところまでやり切れたのはよかったです。

私たちはこれで引退ですが、後輩たちにはこの部をよりよくして行ってほしいと思います。また、今までのいい伝統をこれからも引き継いで行ってほしいです。

(バドミントン部部长)

### 新潟地区で学んだこと

N. O

僕たちは西川中と試合をして、結果は負けてしまいました。多くのことを学べました。その1つとして、新潟のチームはシュート力が高いし、一人一人のスキルも高かった。練習の時も自分を追いついてやるのが大切だと分かりました。

今回学んだことを1・2年生にしっかり教えて、来年は県大会へ行ってほしい。そして、部訓である「ルールやマナーでも畑中いいね」と言われるようになってほしいです。

(バスケット部部长)

### 地区陸上大会の反省

R. F

私は100mと200mに出場しました。1日目100mでは、とにかく自己ベストを出したいと思って、全力で走りました。追い風だったこともあるけど、今シーズンベストの記録を出すことができました。身長では勝っていたけど、速い子はピッチ、腕ふりが力強かったです。

2日目の200mは、ほんの少し遅くなってしまいました。体力面が足りなかったと思いました。また、友達ができて、交流の面ではとてもいい2日間になりました。

## 人権について考える

### 佐渡人権展

が畑野農業環境改善センターで7月7・8日と開催され、畑野中では7日に学年ごとに見学しました。会場では幾つかのブースに分かれ、子ども・女性・外国人・障害者等の人権について説明を聞いたり、被差別部落問題や狭山事件、拉致問題、非核平和宣言等の展示を見たりして、多方面から人権について考える機会になりました。佐渡市小・中の人権教育、同和教育に関する取組も紹介されました。

### 同じ人間として

1年 Y. S

見学に行って、いじめ、差別はダメだと改めて思いました。人の安心・自由・自信を奪われた人はかわいそうです。奪った人も奪われた人の気持ちになってほしいです。外国人も「自分の国に帰れ」とかいろいろ言われたらかわいそうです。誰にでも平等に接して優しい言葉をかけてあげないとダメだと思いました。女性や子どもの差別もいけないと思いました。

みんな同じ人間なのだから、同じように接して優しい言葉をかけ、女性・子ども・外国人に接してほしいと思いました。

### なぜ差別をするの？

2年 M. H

ハンセン病になった人は偏見や差別をされているということを知りました。なぜハンセン病にかかる人と差別などをされるんだろうと思いました。自分になりたいようになっていないのにも関わらず、とてもひどいなと思いました。懸命に病氣と闘ってきた人と一緒に暮らせなかったり、最後まで見送ってあげられなかったり、全く人間じゃないんだなと悲しくなりました。

私はこういう病氣で自分たちを苦しめている人々を助けてあげたいです。そのため、一人一人の気持ち大切にだなど、改めて思いました。

### 差別のない未来に

3年 R. H

私は人を差別する行動が理解できません。なので、被害者に対する偏見や差別はいまだに続いていることを本当に残念に思います。

誰もハンセン病や水俣病になりたくてなったわけではないのに、ひどい中傷を受けた患者さんがとてもかわいそうですし、中傷する人ももう一度被害者の気持ちを考えてほしいと私は願います。

少しでもみんなが自由に生きやすい環境をつくるために一つ一つ理解してあげることが、これからの未来に必要なことだと思います。差別以外にも、いじめや虐待をすべて無くなる勢いで築き上げていきたいです。

